

## PCRT プログラム全体の概略：

- PCRT の 2020 年度のプログラムは基礎 2 から「web 講義（事前動画配信）およびデジタルテキスト（PDF）」+「OneDay 実技（1 日 6 時間）」で行います。
- プログラムの中身は通常の 2 日間のセミナーと変わりませんが、動画による自学の時間が多くなります。
- 動画による自学は繰り返し視聴できるというメリットがありますので、しっかりと学習していただき OneDay 実技（1 日 6 時間）で学習内容を確認する様に体験していただければと願います。
- 事前課題として、骨、関節、筋肉などの名称や部位などの基本解剖をあらかじめ学習されると内容がより理解しやすいです。
- PCRT 基礎編参考資料（HP）、PCRT 基礎編参考資料（ブログ）、PCRT 基礎編参考資料（メディア投稿）を読まれるとさらに内容が理解しやすくなります。
- また、保井がプレゼンしている「治療哲学」、「調整メカニズム」、ならびに「患者説明用の PRT（生体反応検査法）」の動画も併せてご視聴ください。

基礎 1 Mo 1 (1日目)	基礎 1 Mo 2 (二日目)
<u>症状別テーマ</u> ● 腰痛、股関節痛の調整法	<u>症状別テーマ</u> ● 頸部痛、肩こりの調整法
<u>学習内容</u> PCRT 概論 ハード面とソフト面調整法の違い 生体反応検査法の基本 加算振動調整法 筋肉・関節・骨・筋膜系の目安検査の基本 脳バランス基本調整 (前頭前野・辺縁系・脳幹) 基本バランスの目安検査と調整法 意念検査調整法 腰部、股関節部の目安検査と調整法	<u>学習内容</u> 1日目のフィードバック 頸肩部の目安検査 サイクルパターンの調整法 メンタル系施術の導入 (患者説明のトーク) 選択のマイนด์設定 (メジャー・4つ) 「基本感情チャート」の使い方 「時系列・分野・立場チャート」の使い方 筋骨格系 EB に対するソフト面調整法 (基本感情のみ)
<b>基礎 2</b>	
<u>症状別テーマ</u>	
● 肩、肘、手、指関節痛 ● 膝、足関節痛の調整法	
<u>学習内容</u> <b>生体反応検査法の復習</b> ● 肩関節部の目安検査 ● ソフト面検査チャートの進め方 ● 肘、手、指関節部の目安検査 ● 大脳辺縁系調整 (認知調整法) の基本プロトコル ● 感情・価値観・信念 (心の構造) について ● 「信念チャート」の使い方 ● 「価値観チャート」の使い方 ● 筋骨格系 EB に対するソフト面調整法	<u>学習内容</u> ● 脳領域の目安検査 (ブレインマップの活用) ● 膝、足関節の目安検査 ● 大脳辺縁系調整 (認知調整法) の復習 ● 感情・価値観・信念チャートを使った調整法 ● 筋骨格系 EB に対するソフト面調整法

- 事前課題として、骨、関節、筋肉などの名称や部位などの基本解剖をあらかじめ学習されると内容がより理解しやすいです。
- PCRT 基礎編参考資料 (HP)、PCRT 基礎編参考資料 (ブログ)、PCRT 基礎編参考資料 (メディア投稿) を読まれるとさらに内容が理解しやすくなります。

中級 1	
<b>症状別テーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 頭痛、顎関節痛の調整法</li> <li>● めまいの調整法</li> <li>● 小脳系の機能障害</li> <li>● 耳鳴り、難聴の調整法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小脳系の機能障害</li> <li>● 心因性視力障害の調整法</li> <li>● 内臓、婦人科症状の調整法</li> </ul>
<b>学習内容</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>生体反応検査法の復習</b></li> <li>● <b>基本バランスの目安検査の復習</b></li> <li>● <b>脳バランス基本調整 (前頭前野・辺縁系) の復習</b></li> <li>● 「機能評価チャート」の使い方</li> <li>● 「詳細チャート」の使い方</li> <li>● 頭蓋・顎関節部の目安検査</li> <li>● 前庭器官、小脳機能の目安検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳神経関連の目安検査</li> <li>● 経絡を活用した調整法 (臓器反応点)</li> <li>● チャクラ・オーラの概略</li> <li>● チャクラの目安検査</li> <li>● オーラ (空間) EB の目安検査</li> </ul>
中級 2	
<b>症状別テーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食物アレルギーの調整法</li> <li>● 花粉症、皮膚症状の調整法</li> <li>● 自律神経機能障害の調整法 (不眠症、気分障害)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自律神経機能障害の調整法 (パニック障害、うつ)</li> <li>● 過去のトラウマ調整法 (交通事故など)</li> </ul>
<b>学習内容</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>生体反応検査法の復習</b></li> <li>● <b>基本バランスの目安検査の復習</b></li> <li>● <b>脳バランス基本調整 (前頭前野・辺縁系) の復習</b></li> <li>● アレルギー系 EB に対するソフト面調整法</li> <li>● 脳幹脊髄系の基本プロトコル</li> <li>● 「五感適応系チャート」の使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メンタル系の目安検査</li> <li>● メンタル系 EB に対するソフト面調整法</li> <li>● 大脳皮質系の基本プロトコル</li> <li>● 「意味記憶 (意味づけ・思い込み)」</li> <li>● 「エピソード記憶 (映像記憶)」</li> <li>● 「三層構造チャート」の使い方</li> <li>● 三層構造ポイント EB 特定法・患者説明</li> </ul>

- 事前課題として、神経系、臓器系、経絡、チャクラの基本知識などをあらかじめ学習されると内容がより理解しやすいです。
- PCRT 症例編参考資料 (PDF) を読まれるとさらに内容が理解しやすくなります。

上級編
<b>症例別テーマ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● イップス・ジストニアの調整法</li> <li>● パフォーマンスの向上</li> <li>● 代理検査の検査・調整法</li> <li>● 遠隔治療</li> </ul>
<b>学習内容</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 視線による PRT 検査法</li> <li>● ミラーニューロンの一考察</li> <li>● イップス・ジストニアの目安検査・調整法</li> <li>● 代理人検査・ダミー人形・模型による調整法</li> <li>● 分身を使ったエピソード記憶調整法</li> <li>● 電話による遠隔治療</li> <li>● 気づきによる「体感変化」</li> <li>● サプリメント・薬剤の適合検査と調整</li> <li>● 信念の出所の特定法</li> <li>● 辺縁系検査過程で症状が再現する場合の調整</li> <li>● 経絡と辺縁系の組み合わせ調整</li> </ul>
<b>上級編の学びのポイント：</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中級2までの本編を学んだ継続者、認定者を対象に、さらに臨床的で遭遇する症状や問題を解決できる上級のスキルを学びます。</li> <li>● ジストニアでは痙性斜頸、書痙に対するアプローチの仕方</li> <li>● イップスではゴルフと送球イップスに対するアプローチの仕方</li> <li>● さらにはスポーツに関係するパフォーマンス向上のためのアプローチの仕方</li> <li>● 代理人検査による調整法やダミー人形を使った遠隔治療などさらに進んで手法や最新の研究で得られた上級でしか語れない情報やスキルをご紹介します。</li> </ul>

- PCRT 症例編参考資料（PDF）PCRT コーチング・パフォーマンス編（PDF）を読まれるとさらに内容が理解しやすくなります。

入門編(One Day)	
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PCRT の総論</li> <li>● 生体反応検査法の基本</li> <li>● 加算振動調整法の基本</li> <li>● 意念調整法の体験</li> </ul>
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PCRT の全体像と総論</li> <li>● 生体反応検査法の基本</li> <li>● 腹臥位レッグテスト</li> <li>● 仰臥位レッグテスト</li> <li>● マッスルテスト</li> <li>● 目安検査</li> <li>● ハード面調整法</li> <li>● 加算振動法</li> <li>● 持続圧の押さえ方</li> <li>● 意念調整法</li> </ul>
入門編の学びのポイント：	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PCRT の検査に必要な各種生体反応検査法の基本を学びます。</li> <li>● 施術前後の効果を確認する目安検査の手法や加算振動調整法に必要な持続圧の押さえ方を学びます。</li> <li>● 調整の目標となる生体エネルギーブロックの存在を各種検査法から体感的に学びます。</li> <li>● 加算振動調整法による、調整前後の生体反応検査法の違いを体感していただきます。</li> <li>● 意念調整法を体験していただきます。</li> </ul>

- PCRT 基礎編参考資料 (HP) を読まれるとさらに内容が理解しやすくなります。